

## 《東村山市の交通施策》 人、車、自転車が快適に行き交う 「たのしむらやま」を目指す



東村山市長  
渡部 尚

「自転車・バイク・自動車駐車場パーキングプレス」誌 発行人  
森井 博

【プロフィール】 渡部 尚(わたなべ たかし)  
昭和36年8月24日生まれ。都立国分寺高校、茨城大学人文学部人文学科卒業。6年間のサラリーマン生活を経て、東村山市議会議員(平成3年～15年)。平成15年には市議会史上最年少議長を務める。平成19年、東村山市長に初当選し、現在3期目。好きな言葉は「あちらこちら命がけ」(坂口安吾)。趣味は読書、釣り

「自転車・バイク・自動車駐車場パーキングプレス」誌 発行人

東京都の北西部に位置する東村山市は、狭山丘陵を背景にした都内有数の菖蒲の名所・北山公園や、映画『となりのトトロ』の舞台のモデルとしても知られる八国山緑地などを擁する、自然に恵まれた街だ。また、西東京市から東大和市を結ぶ約10.5kmのサイクリングロード・多摩湖自転車道（狭山・境緑道）が走り、サイクリストには知られた場所でもある。一方で、メインステーションの西武新宿線東村山駅から西武新宿駅までは30分台で到着するなど都心部へのアクセスも良好だ。市内では鉄道の連続立体交差事業に伴って都市計画道路の整備も進み、近い将来、交通利便性の進化が見込まれている。今回は、サイカパーキング株式会社が今年度から東村山市の駐輪場指定管理業者となったことを受け、市長の渡部 尚氏を訪ねた。

（対談収録 2016年7月6日）

## 交通系ICカード導入が 利用者と運営管理スタッフ 双方にメリットをもたらした

**森井** このたび当社が東村山市駐輪場の指定管理者をさせていただくこととなりまして、改めて御礼申し上げます。

**渡部** 今回サイカパーキングさんをお願いするに至ったのは、かねてより利用者から「駐輪場で交通系ICカードを利

用できるようにしてほしい」との声が増えており、それに対して機械化の提案をしていただいたことが大きな理由でした。定期更新機、精算機、電磁式ロックを導入し、利用者の利便性が大きく向上することになったわけです。

**森井** ありがとうございます。

**渡部** 定期更新ができる時間帯が拡大したことも好評ですね。従来は、朝6:30～20:30までが更新手続きをお受けする時間でしたが、定期更新機導入で5:00～22:00まで受付可能になりまして、トータル3時間広がりました。また、一時利用の方は交通系ICカードを持っていれば、いちいち現金を払う手間が省けたのは画期的でしたね。特に東村山駅西口と久米川駅北口の駐輪場では、駐輪場での支払い～駅改札入退場までカード1枚で用が足りるようになりました。

**森井** 利用者だけでなく、駐輪場で運営管理業務に従事する高齢者の皆さんにとっても交通系ICカードの導入はメリットがあったと思います。特に朝の忙しい時間帯に、多くの利用者にお釣りの金額を間違えないように渡すのは、言葉で表現する以上に煩雑な作業ですからね。

**渡部** そのとおりですね。利用者、運営管理スタッフ双方がウィンウィンになれたのは大きな収穫です。

**森井** 駐輪場だけでなく、例えば市庁舎内にも交通系ICカードなどの決済の仕

組みを導入するお考えはありますか。

**渡部** 具体的なプランは未定ですが、確かに市庁舎でも現金の授受作業はありますし、駐輪場の成功例をモデルケースにして検討してみる価値はあるかもしれませんね。

**森井** 私たちは全国で自転車駐輪スペースの数では40万台以上、施設数では2,000ヵ所以上を運営管理させていただいております。あちこちで新しい仕組みの導入や実験的試みを行っておりますので、何かいい成果がありましたら、東村山市さんにも新たにご提案させていただきたいと思います。

**渡部** ぜひよろしく願い致します。

## 自転車レーンの機能を 損なわないようにするため コインパーキングに着目

**森井** では、今度は駐輪する場所から走る場所へということで、東村山市さんの自転車走行空間整備について聞かせてください。昨年、自転車レーンの設置が行われたそうですね。

**渡部** はい。市のシンボルロードである東村山駅東口から最終的には秋津方面に延びる都市計画道路「さくら通り」に、当市では初めてとなる自転車レーンを設置しました。全面カラー舗装ではなく、使う色を減らした強調舗装という方法を



左/東村山駅徒歩約20分の場所にある北山公園。狭山丘陵を背景にした自然公園で、新東京百景に選ばれている。初夏には300種類8千株10万本の花菖蒲が咲き乱れる  
右/狭山丘陵の東端に位置する八国山緑地。八国山の名は、かつて山頂から上野、下野、常陸、安房、相模、駿河、信濃、甲斐の八国が見渡せたことが由来とされている（いずれも東村山市提供）



採用しましたが視認性は高く、特に交差点内は分かりやすい表示になっていると思います。また、全面舗装は特に雨の日などにタイヤがスリップする場合もあるのですが、そのリスクが小さい点でも評価をいただいております。

**森井** 利用者の皆さんからの反響は上々だということですね。

**渡部** はい。ただその一方でレーンの上路駐する車が散見されており、一部の利用者からクレームがあるのも事実です。それについては警察の協力を仰ぎ、自転車専用レーン本来の機能が発揮できるように取り組んでおります。

**森井** それは東村山市さんだけでなく全国的な問題と言っていいですね。解消策としては、まず、コインパーキングに車を誘導することが必要だと思います。既に宅配業者の中には、幹線道路での路駐を避けるためにコインパーキングに駐車して、そこを拠点に荷捌きをするケースも増えていますね。それを推奨する行政もありまして、例えば東京都の都心部では、都がコインパーキングの一角を荷捌きエリアにすることを運営業者に要請しています。

**渡部** コインパーキングを効果的に活用するのは良いですね。

**森井** また、利用者目線から言いますと「自転車専用レーンは、断片的ではなくできるだけつながった状態」が理想的です。東村山市さんも近い将来そうなっていただければと思います。

**渡部** 都市計画道路では積極的に自転車専用レーン敷設を推進していこうと意思表示はしていますが、現状ではまだ整備率は低く、都や三多摩地区の平均値を下回っているのが実情です。ただ、今後、これは都道になりますが、例えば市内の府中街道は野口橋交差点以北の所沢市方面まで事業認可を取得しており、整備が進むことになっています。合わせて、東村山市の交通のボトルネックになっていた鉄道の踏切5カ所を除却する、東村山駅を中心とした連続立体交差事業、鉄道の高架化が昨年からは始まっており、これに対応して東村山市のほうでも遅れていた都市基盤整備を進めていく方針です。

**森井** これから市内の交通環境が劇的に進化していきそうですね。

**渡部** ありがとうございます。特に連続立体交差事業に対しては大きな期待を寄せています。これまでは朝夕の通勤時間帯に踏切で激しい渋滞が発生することが多く、線路によって市が分断されてしまう問題がありましたが、それが解消されれば当市の交通利便性や安全性、暮らしやすさは大いに向上するはずですよ。

**森井** これまでも鉄道の立体交差化によって街の魅力がアップして、暮らしの利便性が向上したり、賑わいが生まれたりした街はたくさんあります。東村山市さんも早くそうなることを願っています。

**渡部** 交通渋滞の緩和によって車はもちろん、自転車、人の3者が安全によどみなく移動できるようになりますから、おっしゃるとおり街の活力も向上していくことが期待できます。連続立体交差事業や都市計画道路の整備は、期間としては5年、10年、15年…とこの先まだ時間がかかるものです。しかし、着実に工

事を進め、徐々に森井会長がおっしゃったような自転車専用レーンのネットワーク化も進められればと思います。

## マナー啓発、放置対策… 「ひがっしー」の力も借りて 自転車問題に取り組む

**森井** 人、車、自転車の3者すべてが安全に市内を移動できるようにする、というお話に関連しまして、自転車利用者に対する交通マナー啓発についておうかがいしたいと思います。具体的にはどのような取り組みをされていますか。

**渡部** 警察、交通安全協会と連携して、保育園、幼稚園、小学校、中学校、さらには高齢者を対象にした自転車の交通安全教室を実施しています。特に中学校では、自転車の交通事故がいかに人間にとって危険かをスタントマンが実演する「スケアードストレイト方式」を採用しています。これには中学生だけでなく、地域住民にも呼びかけて一緒にご参加いただいております。

**森井** 生徒に加えて、地域の大人にもスケアードストレイトを見る機会があるのは良いですね。

**渡部** また、中学生以上になると、自分が被害を受けるだけでなく加害者になる可能性も出てきますので、そうしたことを認識いただくための機会にもなっています。さらに、これはサイカパーキングさんのご協力で市のイベントに「たちくん」をお貸しいただき、多くの方に自転車シミュレータを体験していただく



今年6月、北山公園で開かれた菖蒲まつりに登場したひがっしー(右)。左は菖蒲まつりのマスコット「しょうちゃん」(東村山市提供)

コーナーも設けています。

**森井** シミュレータはなかなか好評だとうかがっております。昨今、交通事故の件数は全国的に減少していますが、自転車に関与する事故の割合は増える傾向にあります。多様な世代を対象にして自転車のルール、マナーの啓発を行っていくことは非常に大切ですね。

**渡部** 東村山警察署の管内で発生する交通事故のうち、4割程度には何らかの形で自転車に関与していると聞いています。被害を受ける方は高齢者が多いということで、今後、当市における交通事故防止で重視すべきポイントは自転車と高齢者、この2つになっていくと思います。ルール、マナー啓発は積極的に続けていくつもりです。

**森井** 自転車問題では放置自転車対策にも積極的に取り組まれていますよね。市のHPでは、職員自ら熱演して放置自転車禁止を呼びかけていましたし、東村山市の公式キャラクター「ひがっしー」を使った放置自転車禁止の広報もありました。特に注目したのが、児童生徒の放置自転車防止をアピールするポスターを、放置自転車が多発する地域の路面にプリントしていることです。これは平成23年に始まって、東京都では初めての取り組みだったそうですね。先駆的施策で業界でも話題になりました。

**渡部** ありがとうございます。必ずしも潤沢に予算が使えないなか、職員が知恵を絞っていろいろな取り組みを継続しているのは、市長としても感謝しています。

### 今春デジタルサイネージ設置 ニュース、災害情報などの発信で 駐輪場の付加価値を向上

**森井** 弊社もお手伝いさせていただきましたが、今年4月、市内3ヵ所の地下駐輪場に、地域の情報や時事ニュース、緊急時の災害情報などを表示するデジタルサイネージと、停電時にも作動する飲料自販

機が設置されました。これに対する市民の反響を教えていただけますでしょうか。

**渡部** おかげさまで「非常に見やすい」といった声が多く、概ね好評です。くしくも今年春に熊本地震が発生し、災害に対する意識が高まっておりますので、駐輪場という人が集まる場所に災害情報を掲示できるデジタルサイネージを設置したことは、大変心強いことだと考えています。今後も民間事業者さんの協力をいただきながら、同様のデジタルサイネージや自販機の設置数を増やしていければと思います。

**森井** 万が一の災害情報が得られる駐輪場ということで、ただ駐輪するだけではない付加価値を備えられたのは業界のトレンドにも合っていると思います。

**渡部** デジタルサイネージを設置した地下駐輪場は、かつて市民の反応は決して良いわけではなかったのです。というのは、地下だから暗くて人の目が行き届きづらいために「犯罪の温床になるのではないか」「自転車がイタズラされたり、盗まれたりするのではないかと」といった懸念があったからでした。しかし、今で



はそんな不安を抱く人は皆無といえます。防犯性は高い、雨が降っても自転車が濡れない、地下は耐震性が高く安全である、等の認識がすっかり定着しました。しかもデジタルサイネージが加わって災害情報も得られるようになった。どんどん進化していることを実感しています。

**森井** 民間事業者の協力という話題で



① デジタルサイネージが設置されている東村山駅西口地下駐輪場 ② 駅に直結する通路に設置されたデジタルサイネージ ③④ 平時は鉄道運行情報や時事ニュースを表示し、緊急時には地震速報などの緊急情報を、赤白の明滅表示で強く注意喚起する

いいますと、近年、例えば渋谷区さんでは駐輪場運営管理を民間事業者に完全に委託するケースも見られています。東村山市さんにはそうした構想はおありでしょうか。

**渡部** 現在、東村山、久米川、秋津・新秋津といった市の主要駅近くにある駐輪場はすべて借地を利用していることもあり、すぐに完全に民間委託するのは現実的ではないと思います。ただ、古くから民間の駐輪場も点在しておりまして、市内では既に公と民の駐輪場が共存しているんですね。そこで当市では主要駅エリアの公・民を網羅した駐輪場マップを作成し、利用者や業者さんに配布しています。民間で進めていただけることはどんどん推進していただければというのが東村山市のスタンスです。官民一体となって市民の暮らしの利便性を高めていきたいと考えています。

**森井** 公・民が一緒になった駐輪場マップは、利用者目線からは非常にありがたいですね。駐輪する立場から見れば、料金的な差は若干あるかもしれませんが、ともあれ同じ駐輪場なのですから。

**渡部** 駐輪場の話題で加えますと、先ほど申し上げた連続立体交差事業で創造される高架下のスペースも駐輪場の適地といえます。基本的に高架下は鉄道事業者の土地で、われわれが使えるのは約15%のみと聞いています。もしかしたら、鉄

道事業者が駐輪場、あるいは駐車場として活用されるかもしれませんが、それはそれで有意義だと思います。

**森井** おっしゃるとおりですね。

**渡部** 別のプランもあります。久米川駅の南口にある駐輪場の土地は今春、事情がありまして当市が買い取ったんですね。久米川駅南口の商店街は、先ほど申し上げた東村山駅前のさくら通りに並ぶ東村山市のメインストリートなので、将来的には今以上の賑わいがある通りにしていきたいと考えています。そこで、駐輪場の土地が、活性化をサポートする役割を担えないかと思うんですね。例えば従来のように駐輪場としてだけでなく、商業施設など別の機能を持たせることで、多くの方に利用していただける場所に変えられる可能性もあります。ぜひ民間業者さんにも参画いただき、アイデアや、場合によっては資金も注入いただければと思います。

**森井** ぜひ、私たちにも協力させていただきたいと思います。私もではかねてより、駐輪場は「きれい」「快適」「機能的」という3つの「K」を掲げており、その方針に基づいて各地の駐輪場の運営管理を続けてまいりました。久米川駅前の駐輪場用地開発でも市民の皆さんが、美しい、かっこいい、楽しいなどと感じていただけるような施設の実現を支援できると思います。

**渡部** それは良いですね。ぜひお知恵をお貸しください。

## 自転車フレンドリーな環境をフル活用して 「自転車でのしむらやま」

**森井** 「楽しい」というワードを申し上げましたが、今春、この対談ページ取材で富山市の森雅志市長とお話する機会がありまして、その際市長がおっしゃった「これからは住む人、訪れる人が楽しいと感じていただける街づくりが必要だ」という言葉に感銘を受けたことを思い出しました。

**渡部** まったくそれに同感です。というのは私たちが「来て楽しい、住んで楽しい」を重視しているからです。ご存じのとおり、今後少子高齢化が進むため、人口減少社会にどう対応していくかはすべての自治体の課題であり、東村山も例外ではありません。そこで「東村山創生」ということで「たのしむらやま」というブランドメッセージ&ロゴマークを掲げています。

**森井** たのしむらやまには例えば「自転車でのしむらやま」などの意味も含まれるのですか？

**渡部** もちろんです。当市の面積は17.14km<sup>2</sup>でいわば自転車サイズの街であり、自転車で巡っていただきやすい観光スポットや遺跡、景勝地もたくさんあるんですよ。また、西東京市から東大和市を結ぶ約10.5kmのサイクリングロード・多摩湖自転車道(狭山・境緑道)はサイクリストには非常に人気の高いサイクリングロードで、しかも東村山市内を走っている距離が隣接する自治体の中では最長なんですね。元来、自転車フレンドリーな環境があるというわけです。森井会長がおっしゃってくださった「自転車でのしむらやま」は、当市ブランディングの重要な柱のひとつになりますね。

**森井** 東村山を自転車で巡るとしたら、どこかお薦めの場所はありますか。

**渡部** まずはグルメスポットでしょうか。この一帯は大きな河川がないことから小



対談は東村山市の特産品や出土品などが展示された庁舎の応接室で行った



① 東村山駅から徒歩約10分の場所にある正福寺の地藏堂。鎌倉の円覚寺舎利殿とともに禅宗様建築の代表的遺構であり、国宝の建造物として名高い ② 多摩湖の水を武蔵境の浄水場へ流す水道道路の上につくられた多摩湖自転車道(狭山・境緑道)。桜の名所でもある ③ 明治末期、ハンセン病の療養施設としてつくられた多磨全生園(たまぜんしょうえん)。園内には国立ハンセン病資料館(写真)もつけられている(以上3点東村山市提供)

麦の栽培が盛んで、古くからうどん文化圏の地域なんですね。そのため、市内にはうどん屋さんが多いんです。さらに、地元ブランドもあるナシ、ブドウ、キウイなどの果樹園巡りもお薦めです。そして、都内唯一の木造建造物の国宝である正福寺の地藏堂もぜひ訪れていただきたいですね。サイカパーキングさんのご協力により、昨年から東村山駅西口駐輪場と久米川駅北口地下駐輪場の2ヵ所でレンタサイクル事業を行っていますから、ぜひ活用し

て巡っていただきたいと思います。ちなみに、レンタサイクルは現在月に約110台利用されており、内訳は約40%がビジネス、25%が観光とのことです。観光目的での利用率アップを狙いたいですね。  
**森井** 都内唯一の木造建造物の国宝があるというのは知らなかったですね。  
**渡部** 評論家の山田五郎さんいわく「日本一さりげない国宝」だそうです(笑)、室町時代に建立されたもので、鎌倉の円覚寺舎利殿と同じ建築様式が採用されて

います。600年以上の歴史があり、実は円覚寺舎利殿よりも古いんですよ。  
**森井** それは非常に希少な観光資源です。レンタサイクルを活用して、多くの方に訪れていただき、全国区の知名度を得るように仕向けたいものです。本日は自転車をひとつの軸にした街づくりの計画や可能性など、さまざまな話題をうかがうことができました。誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく  
 お願い致します。 **PP**

【パーキングプレス 発行人】 **森井 博** のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
  - 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
  - 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
  - 東京八重洲ライオンズクラブ 会員
  - 六本木男性合唱団 団員
  - サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役CEO
- 【略歴】** 1938年(昭和13年) 宮崎県延岡市生れ78歳。  
 1957年(昭和32年) 石川県立金沢泉ヶ丘高校卒  
 1961年(昭和36年) 東京商船大学(現東京海洋大学)卒  
 1961~1979年 石川島播磨重工業(現: IHI)  
 1979~1991年 東芝  
 1991年~ 現職
- 【趣味】** 現在: ゴルフ・車・自転車・歌・仕事  
 過去: 水泳・野球・陸上競技・テニス

- 【遍歴】** ゴルフ: 毎週1回ホームコースでラウンド、週1~2回練習場通い。  
 車: 毎日通勤で運転。中古車3台を大切に乗り廻す。  
 自転車: マツダレベル、ブリヂストンモルトン他数台保有するも年齢を考え乗り廻さない。  
 歌: 六本木男性合唱団でロクに楽譜も読めないのに毎週(?)練習に励む。  
 仕事: 健康のため平日は毎日9:00~17:00出勤、社員に迷惑をかけている。但し、土、日、祝日は絶対に出社しない。  
 水泳: 漁港で漁師の子供達と一緒に育ったため、小学校に入る前から泳ぎは得意。ちなみに小学校の名前は港小学校。  
 野球: 中学生までは本気でプロになるつもりであった。少年野球町田玉川チームコーチ6年間。元西鉄ライオンズ 故・稲尾和久投手、完全試合投手 田中勉、元巨人 淡河弘捕手は友人。元巨人監督 原辰徳氏の父 故・貢氏も友人でボクサー犬を貰った仲。  
 陸上競技: 高校時代 短距離、やり投げ、インターハイ2回出場。東京陸協元会長でオリンピック3回出場の大串氏とは友人  
 テニス: 元テニ杯選手 本井満氏のコーチでかなりの腕前(?)になるも、45歳時アキレス腱断裂でプレー終了。

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

